

## 「つげ野の森市民ネットワーク」設立へ

「黄柳野高校今春開校不可」という私学審議会、愛知県知事の判断はかえすがえすも残念なことです。しかし黄柳野高校設立の夢がたれたわけではありません。この結果をバネに、よりしっかりと学校をつくりあげていくことが、いまこそ問われています。

すでに校舎・宿舎などは完成し、本年4月からは通信制生徒40名、他50名を受入れて実質的に教育活動を開始します。「つげ野の森市民ネットワーク」は、黄柳野学園を核にして市民主導で黄柳野の地域づくりに取り組むものです。この学校と地域が相互に結び合う壮大な構想に、協同総研の会員の皆さんのご協力を強く期待します。

### 「つげ野の森、つげ野の夢、の第一歩

黄柳野学園に賛同し、より大きな「つげ野共育」の広がりを願う方々より広大な山林および宅地、田畑、建物が財団に寄付されました。これを「つげ野の森」として市民が共同購入すれば、開校への資金不足が大きく補われるだけでなく、かねてよりの願いであった市民立の力を具体化していくことができます。「つげ野の森市民ネットワーク」は、こうして考え出されました。

共同購入された広大な森は、子どもたちの労働体験、自然体験にとって、この上ないフィールドとなることでしょう。またこれらの森は学園と協力する地元の林業家の方々によって手入れされ、植林され、適切に伐採されることで資源として生かされ、「衰退する林業」から「自然を守り発展させる林業」へ一石を投げようとしています。田畑では地域の農業と協力し、若者にも魅力ある「未来の農業」をめざしたいと思えます。そして、森林浴や休息、宿泊、自然学習など、大自然を生かしたさまざまな楽しみや遊びの数々…。

「つげ野の森」は、多くの文化や価値を生み出す「母なる森」になっていこうとしているのです。

### つげ野の森市民ネットワークとは

知識注入型・輪切り方式の教育をこえ、感動する豊かな心と新しいものを創っていける力を引き出す真の人間共育は、いま、全国の子どもたち、父母をはじめ、あらゆる人々の関心を集めています。こうした期待にこたえ、95年開校する黄柳野学園を大きく育てていくために、この「つげ野の森ネットワーク」は生まれました。

＝目的は＝

- ①黄柳野高校をつくり、育てる 資金面からも支援し、目的の達成のため運営面でも支援します。
- ②次代を担う若者を育てる 若者たちに自然の中に学ぶ場を提供し、全国各地の教育運動と連携しつげ野の教育理念を広げていきます。
- ③自然を守り、育てる 自然の保護や有効利用を考え、山林を守り育成します。

＝こんな事業を＝

- ①山林等、不動産を購入します 学園設立準備財団に寄贈された山林等、不動産を購入します。
- ②自然の有効利用をはかります 間伐、下草刈、育林等に取り組みます。間伐材を利用した木製品の研究・開発を行います。
- ③黄柳野塾（仮称）を開設します 現地と周辺地域に開設予定の黄柳野塾の運営への参加と経営を行います。全国各地で塾の開設に取り組みます。
- ④移住希望者への援助を行います セカンドハウス、農林移住も含め、専門の窓口を開設します。

＝不動産の共同購入にご協力下さい＝

申込金額は1口100万円です。グループ、団体等で申し込まれる場合も代表者個人扱いとなります。申込者により「つげ野の森市民ネットワーク」を設立し、設立総会を4月3日に行ないます。

＝事務所は＝

愛知県豊川市駅前通3-53-1、電話05338-4-9332。

（文責：広瀬謙一）